



夏の緑川（宮内地区）

うたごよみ 長月

「短歌」

渡辺幸士 選

「はい、はい」と聞きつつ何の話かと思ひ出  
せずに吾は戸惑う 赤星 文子

朝日射す狭庭に咲きし向日葵は香ることなく

夏を連れ来る 赤星 延子

昼は蟬夕べは騒ぐ虫の声夏の山里忙しく暮る  
塚原 暁益

夜の闇に花火の爆せて麗しき希望の花が大輪  
に咲く 松本ぬい子

マミコウロード四方山緑のあちこちに紅輝き  
て合歓の花映ゆ 森田 房恵

夏祭り願ひ通りに雨も無く締めの花火も無事  
に終わりぬ 上村やす美

地域より誕生祝い頂けり温もりのある手作り  
ペン立て 内田乃武子

吾の名のいわれ語りし遠き日の亡父を思ほゆ  
今も懐かし 上村 かず

朝風の音聴くごとく老い二人散歩しており犬  
も付き行く 吉永由紀子

県外にわれ等の短歌を読む人の居られると知  
り励まされたり 緒方 明美

子等に背を押され訪ねし摩周湖は神秘の水と  
真白き霧と 内山タミエ

テーブルに置きしままなる補聴器がじつと聞  
きおり私の愚痴を 渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士 選

「汗」

ポランティア流した汗の爽やかさ 布田 愛子

グランドの汗に何時かは花が咲く 伊豆野ヤエ

負け試合頬を流れる涙汗 緒方 瑞枝

癌告知されて冷汗どつとかく 松本ぬい子

汗流し合つて少女のこころ解け 清川みどり

「やっぱり」

あの人の真実やっぱり今解る 北 仁子

嫌なもの矢つ張り地震・雷か 古閑チヨミ

やっぱりな酒の肴は妻の酌 早 彦喜

娘も孫も街に巣作りしてしまふ 渡辺 幸士

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局  
096・234・2447（内線321）